

株式会社信濃公害研究所

北佐久郡立科町芦田1835-1 ☎0267-56-2189 URL <http://www.eco-skk.com/>

企業力

The Power of Company

安全な暮らしは、環境を測る 技術が支えています

専門家という 意識を育てる

安心して暮らせる環境は、目に見えないさまざまな衛生基準の上になり立っている。水、空気、農産物、食品加工。定められた項目を検査し、基準を満たしたものが世に出る。その安全を支

えるのは、正確で公正な計測だ。

信濃公害研究所は、環境に影響する物質の量や濃度を計測し、第三者の立場で検証している。高度経済成長期に起きた四大公害を受けて、1971年、当時薬局を営んでいた初代社

長が、県内で先駆けて工場排水等の成分分析を事業としてスタートさせた。現代表の大島明美さんは、業界では珍しい女性経営者ならではの視点で、その役割を果たしている。

同社の強みの一つは、環境に関する資格保有者が多く



機器を用いた検査風景

「見えないものを測る面白さ」を、それぞれの視点で追求し、発表することは成功体験になる。また、専門知識を生かすことで、イノベーション／技術革新を引き出せるのでは」と大島社長。ニーズを探るだけでなく、技術を高め、新たな事業の種を積極的に送り出していく。同社の攻めの姿勢、うかがえる。

オリンピックの「食」を ビジネスチャンスに

飲食店や食品加工会社に向けた衛生セミナーや、保育士向けの手洗いセミナーなど、食の安全安心に関するサポートに力を入れている。異物混入などのクレームについて、真っ先に相談できる場所でもある。

「2020年の東京オリンピックに向けて、特に食の分野で求められる安全性は厳しくなる」と大島社長。同社では、測定結果の信頼性を保証する国際規格である「ISO17025」を取得。今後、食品を納入する際の試験機

関として、大きなアドバンテージとなることを期待している。

環境を測る、という使命。長年、環境の健康診断を続ける同社は、今を測るだけでなく、過去を知り、未来を読み、安心して暮らせる環境の維持を問い掛ける。「私の役目は、人をつないで組織の力を強くすること。技術をつないで会社の可能性を広げること」。45周年を迎えた同社。就任2年目、大島社長の攻めの経営は続く。



代表取締役 大島明美さん

社員が技術革新を起す

初代社長時代から続いていた社員による「研究発表会」。検査や分析での業務改善や、お客様と解決した事例、法令改定など、業務の延長線上にある興味関心を掘り下げ、その成果を発表する。技術者が感じている

TOPICS 1 探求心が会社を強くする

初代社長時代から続く「研究発表会」は、社員が業務の中で関心を持ったことについて調べ、発表する場。ここから新しい事業のヒントが生まれることも。手作りの情報誌として「へいせいかわら版」を発行しており、お客様からの疑問「洗剤の除菌力」「夏の車内環境(温度)」などについて実験して発表することも。



研究課題を見だし、自主的に行われる研究発表会

TOPICS 2 労働環境の 改善や対策を提案

今年義務化された化学物質のリスクアセスメント。塗装業など化学物質を使用する業種での健康被害が増え、640種類の化学物質について専門性の高い調査が求められる。労働環境と働く人の健康を見つめてきた同社は、調査だけでなく、労働環境の改善や対策の提案にも幅広い知識を持っていることが強みだ。



お客様の目的に応じた調査・分析を行い最適な対策を提案。技術営業部次長／岡野隆徳さん

TOPICS 3 環境を測る技術を 「社外らぼ」として

分析機器などを持たない企業が、調べてみたいことを気軽に相談できる「社外らぼ」としての活用を促している。さまざまな検査・分析を行い蓄積してきた知識を生かし「特殊な依頼でも、一緒に解決していく気配りができる企業を目指したい」と大島社長。



法律に基づいた調査・分析にてお客様の課題解決をサポート



立科の水田に囲まれたレンガ造りの建物

環境を測る、という使命があります。

私たち信濃公害研究所は、環境の分析・測定・調査を通じ、みなさまと共に、環境文化を創生し、郷土の自然未来に貢献するため、日々研究を重ねています。



- 生活圏を測る
- 水圏を測る
- 大気圏を測る
- 生物圏を測る

- 水質分析(水道水・浴槽水・温泉水・地下水・下水・工場排水・農業集落排水・ビル管理水道水 他)
- 食品衛生検査(従業者の保菌・製品の細菌・製品の異物・工場・厨房の衛生点検 他)
- 生活環境測定(作業環境・悪臭・ばい煙・騒音・振動・低周波音・シックハウス 他)
- 環境関連法業務(環境アセスメント・廃棄物処理施設・大規模小売店舗立地法騒音等予測・土壌汚染対策)
- 各種分析(農薬・肥料・土壌・産業廃棄物・放射能・アスベスト・ダイオキシン類・ごみ質・重金属 他)
- 地表水分析(河川水・湖沼水・湧水)
- 流況調査(流速・流量)
- 底質分析
- 水生生物調査(水生昆虫・魚類・付着藻類・動物植物プランクトン・その他水生動物)
- 大気質測定(二酸化硫黄・一酸化炭素・浮遊粒子状物質・二酸化窒素・光化学オキシダント等の自動測定)
- 気象観測(風向・風速・気温・湿度・雨量等)
- 動物調査(哺乳類・鳥類・猛禽類・両生類・爬虫類・昆虫類)
- 植物調査

45年の測るチカラで、 お手伝いいたします。

おかげさまで、2016年に創業45周年を迎えることができました。これまでの分析、調査の経験を活かし、お客様並びに社会に貢献できるよう、誠意をもって活動していく所存でございます。

株式会社 信濃公害研究所

■本 社 / 北佐久郡立科町芦田1835-1
TEL.0267-56-2189 FAX.0267-56-1843

■長野事務所 / 長野市北尾張部765相互第一ビル2F
TEL.026-214-2677 FAX.026-214-2678

■松本事務所 / 松本市鎌ヶ崎1-1-55 中村ビル1F
TEL.0263-36-3074 FAX.0263-36-3569

<http://www.eco-skk.com/>